

企業景況調査報告書

(令和8年1～3月期)

< 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要 1
質問2 直面している経営上の問題点 2
質問3 物価高騰が及ぼす影響について 3
質問4 鳥取県立美術館開館について 4
質問5 意見等自由記載欄 5
DI集計結果・分布 6
調査票様式 7,8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2026年1～3月）

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社 (建設業 21 社、製造業 19 社、卸売業 11 社、小売業 21 社、サービス業・その他 28 社)
調査方法	各事業所に FAX またはメールで送付し、FAX またはメールにて返信依頼。
調査時期	令和 8 年 4 月上旬～令和 8 年 4 月中旬
回収状況	82 社 (回収率 82%) ※前回 (10～12 月) 84 社 (建設業 21 社、製造業 15 社、卸売業 10 社、小売業 14 社、サービス業・その他 22 社)

業種別の業況 DI は、今期は 1 業種で上昇、来期は 3 業種で上昇する見通し

<今期の状況> (5 ページ表参照)

今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の▲4.8 から 7.7 ポイント下降し、▲12.5 となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は▲9.5 (前期 0)、製造業は▲7.1 (前期▲5.5)、卸売業は▲10.0 (前期 14.3)、小売業は 0 (前期▲7.2)、サービス業・その他は▲28.6 (前期▲12.5) と、1 業種で上昇、4 業種で下降となった。

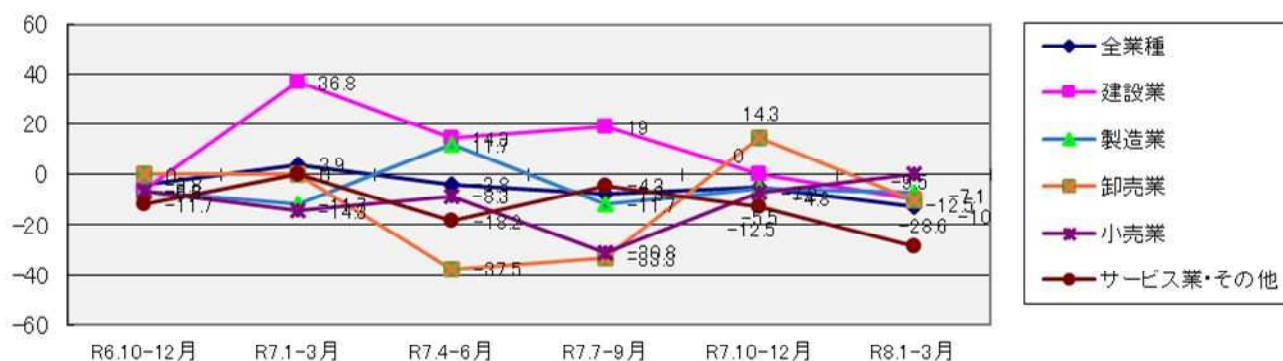
<来期の見通し> (5 ページ表参照)

来期の見通しでは、DI 値は前期の▲6.1 から 2.9 ポイント下降し、▲9.0 となった。業種別に見ると建設業は▲4.7 (前期▲5.0) 卸売業は 11.1 (前期 0)、小売業は▲7.2 (前期▲14.3) と上昇する見通しであるが、製造業は▲7.1 (前期 5.6)、サービス業・その他は▲25.0 (前期▲12.5) と 2 業種で下降する見通しとなった。

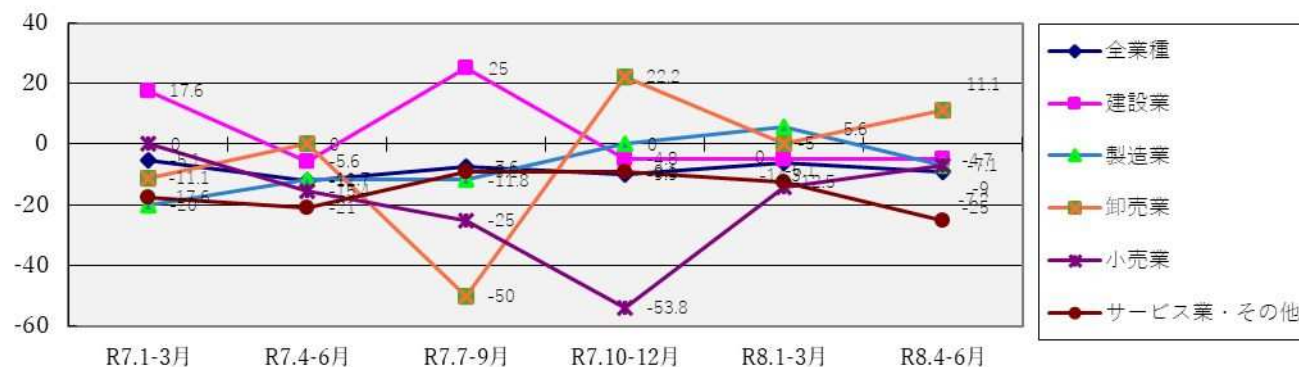
経営上の課題としては、全業種において、「原材料・仕入価格の上昇」が引き続き最大の経営課題となっており、「売上・受注の減少」や「経費の増加」も上位に挙がるなど、コスト増と需要減少が重なった厳しい状況が続いている。特に建設業においては、「原材料・仕入価格の上昇」に加え「売上・受注の減少」や「人手不足」も課題として挙げられており、複合的な経営圧迫が見受けられる。また、サービス業等においても「人手不足」が上位に位置しており、労働力確保の難しさが継続している状況がうかがえる。

<業況判断 DI の推移> ※今期の DI 値集計結果については P5 をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	原材料・仕入価格上昇 (49)	売上・受注減少 (35)	経費の増加 (33)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (45)	人手不足 (36)	売上・受注減少 (30) 経費の増加 (30)
建設業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (13)	売上・受注減少 (12)	人手不足 (9)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (12)	人手不足 (11)	経費の増加 (9)
製造業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (10)	売上・受注減少 (7) 経費の増加 (7)	利益率低下 (5)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (13)	売上・受注減少 (6) 経費の増加 (6) 利益率低下 (6)	人手不足 (5)
卸売業	当 期	経費の増加 (7)	競争激化 (5) 原材料・仕入価格上昇 (5)	消費・需要の停滞 (3) 売上・受注減少 (3) 人手不足 (3)
	前 期	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5)	競争激化 (4)	原材料・仕入価格上昇 (3)
小売業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (9)	消費・需要の停滞 (7)	売上・受注減少 (5)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (8)	消費・需要の停滞 (6)	売上・受注減少 (5) 人手不足 (5)
サービス業・ その他の業種	当 期	原材料・仕入価格上昇 (12)	人手不足 (9)	売上・受注減少 (8) 経費の増加 (8)
	前 期	人手不足 (13)	経費の増加 (10)	原材料・仕入価格上昇 (9)

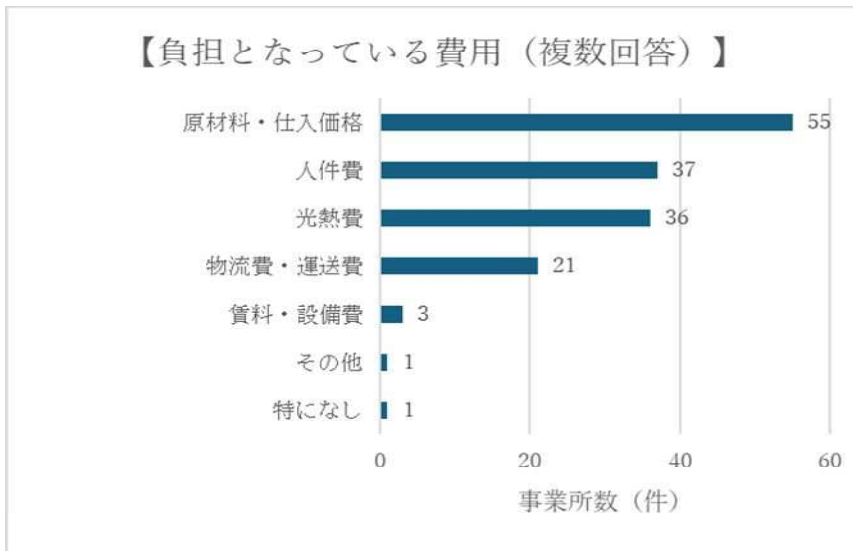
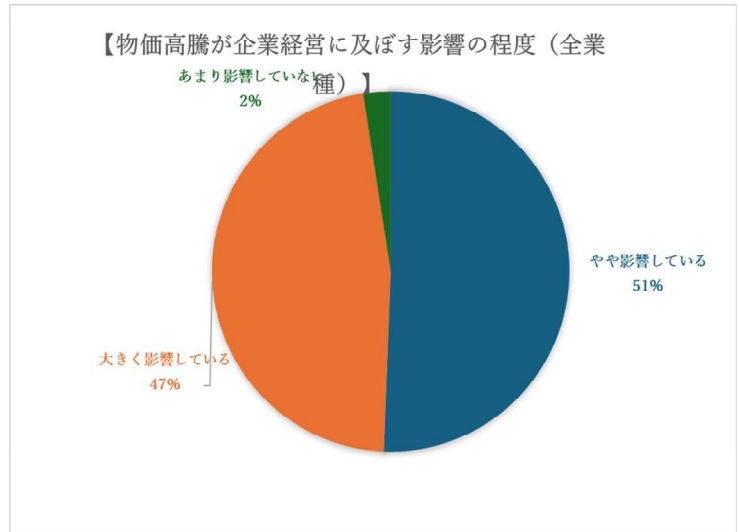
17 その他

- ・軽油の仕入れが不安定（イラク戦争）
- ・人件費高騰
- ・熟練技術者の不足
- ・人口減少

質問3 物価高騰が企業経営に及ぼす影響について
物価高騰の影響はほぼすべての企業に拡大

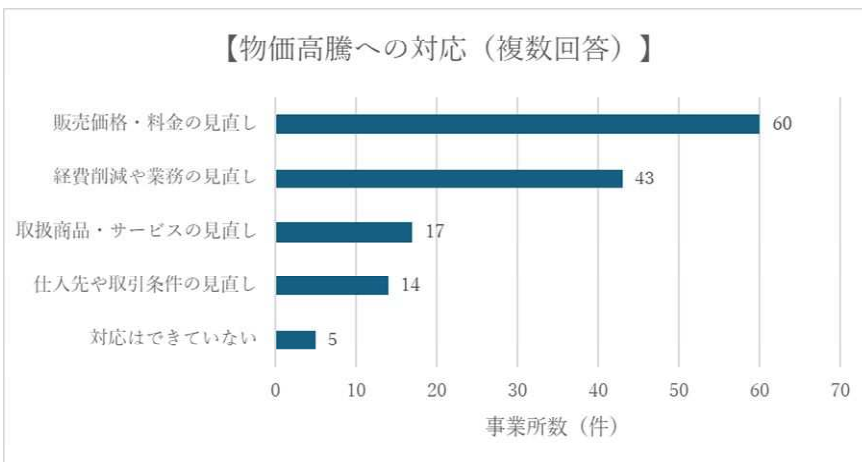
原材料価格やエネルギーコストの上昇が続く中、物価高騰は企業経営に大きな影響を及ぼしている。コスト負担の増大や収益圧迫が進むなかで、価格転嫁の難しさや需要の停滞も重なり、企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にある。加えて、人手不足や人件費の上昇も影響し、経営課題は一層複雑化している。

物価高騰が企業経営に与える影響については、「やや影響している」が51%、「大きく影響している」が47%と、全体の約98%の企業が何らかの影響を受けている結果となった。一方で、「あまり影響していない」とする回答はごく少数にとどまり、物価高騰が広範な業種において深刻な経営課題となっている状況がうかがえる。こうした結果から、コスト増加が企業活動全体に広く波及しており、収益構造への影響が長期化している状況がうかがえる。



負担となっている費用（左図）については、「原材料・仕入価格」が最も多く、次いで「人件費」「光熱費」となっており、企業のコスト負担が広範にわたっていることが明らかとなった。特に、原材料費の上昇に加え、人件費やエネルギーコストの増加が同時に進行しており、収益圧迫の要因が多層化している状況が見受けられる。また、「物流費・運送費」の増加も一定程度確認されており、外部環境の変化が企業活動全体に波及していることがうかがえる。

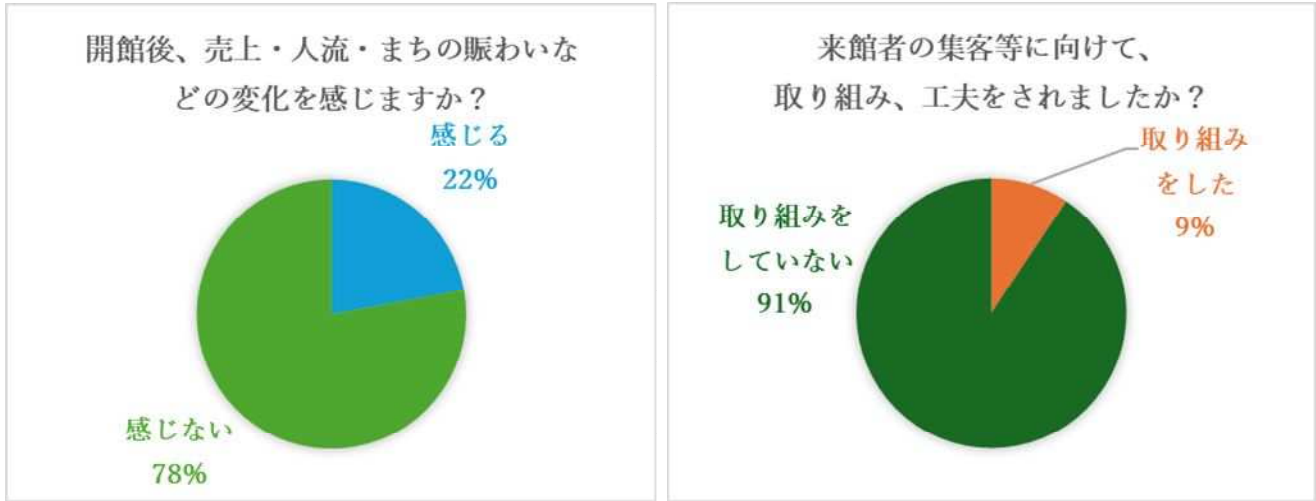
物価高騰への対応としては、「販売価格・料金の見直し」が最も多く、次いで「経費削減や業務の見直し」が挙げられており、多くの企業がコスト増に対し価格転嫁や内部努力の両面で対応している状況が見受けられる。一方で、「取扱商品・サービスの見直し」や「仕入先や取引条件の見直し」など、事業内容や取引構造の見直しに踏み込む動きも一定数見られる。また、「対応できていない」とする回答も一部にあり、すべての企業が十分に対応できているわけではなく、対応の難しさもうかがえる。



以上の結果から、物価高騰の影響は

多くの企業に及んでおり、原材料費や人件費、エネルギーコストの上昇などが重なり、経営環境の厳しさが続いていることがうかがえる。また、対応の状況にはばらつきも見られ、企業ごとの事情に応じた対応が求められている。

質問4 鳥取県立美術館の開館について



開館後の売上や人流、まちの賑わいの変化については、「感じない」とする回答が78%を占め、「感じる」は22%にとどまっており、現時点では多くの事業者において具体的な変化の実感には至っていない状況が見受けられる。

また、来館者の集客等に向けた取組についても、「取り組みをしていない」が91%と大半を占め、「取り組みをした」は9%にとどまっており、来館効果を取り込むための具体的な行動に至っている事業者は限定的である。

これらの結果から、現段階では開館による波及効果が地域全体に十分に浸透しているとは言い難く、また、事業者側においても積極的な取組が広がっていない状況がうかがえる。

開館による効果は一部で認識されているものの、多くの事業所では具体的な変化として実感されておらず、来館者の動きを自社の売上や集客につなげる段階には至っていないと考えられる。今後は、来館者の動向を意識した情報発信や商品・サービスの工夫など、各事業所が状況に応じた取組を検討していくことが、にぎわいの波及や効果の定着につながると考えられる。

<1. 開館後、売上・人流・まちの賑わいなどの変化を感じますか？※自由記述>

- ・観光客が少し増えたように感じる
- ・少し
- ・バス等の出入をよく見かける
- ・人の流れを感じています。
- ・多少感じる
- ・団体をよくみるようになった
- ・土・日・祝は県外車がいる
- ・美術館付近の出入。

<2. 来館者の集客等に向けて、取り組み・工夫をされましたか？※自由記述>

- ・アート格納庫MでのPR
- ・のぼり
- ・巨大紙ずもうへの協賛・サポート
- ・社員研修
- ・入館者として伺いました。
- ・青年団体としての活動
- ・広告宣伝
- ・DM・チラシの工夫、周遊性向上に向けた工夫

質問5 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・市の公共工事減少が心配される
- ・原油高騰に伴う価格、商品不足が懸念され、第1次オイルショックを想像する。早急な対応をしなければと考えている。この問題は大きな出来事だと社内皆で対応をしなければと思っている。

【製造業】

- ・インボイスの廃止、お願いします。手間が掛かっています。
- ・石油の輸入減少により、合板等の確保が困難となりつつあります。従来の工法を検討しています。

【卸売業】

- ・移住者獲得よりも現状市内にいる人を逃がさない施策を。

【小売業】

- ・光熱費、人件費上昇 売上減
- ・物価高騰で困っている

【サービス業】

- ・お世話になります。
- ・人件費の高騰が今後3年位で大きな負担となってくる。
- ・増収が見込めない店・会社もある中、最低賃金を上げることばかりでは経営が成り立たなくなることも考慮して欲しい。金額ありきの決定をやめて欲しい。
- ・人口減少に伴い、中小は（オーナー企業）は今後、倒産が増えると思うが、打つ手なし。
- ・長年の店舗営業で修繕や機械故障による費用がかさんでいる。
- ・当社は、土木技術関連のサービス業ですが、中部地区の高校に土木（建設）専門の学科が無くなっていますが、復活させていただきたいと思います。やはり、不景気になれば需要を生み出すためにも、公共事業が必要になると思いますし、災害復旧事業にも地域のためにも必要な人材を確保してもらいたいと思います。
- ・石油関連の原材料の高騰が心配です。この5月よりナフサを原料とする製品は40%上がります。
- ・重油の確保ができない。行政にて地域企業の救済を早急に行うべし。

D I 集 計(前年同期比=2025年1~3月期、来期の見通し=2026年4~6月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-13.6	-11.2	24.7	14.1	-14.8	-21.5
製造業	6.6	-6.7	33.4	0.0	0.0	-13.4
非製造業	-18.2	-12.3	22.7	17.5	-18.2	-23.4

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.8	-7.6	0.0	0.0	-1.3	9.0
製造業	-13.3	-20.0	-20.0	-20.0	14.3	7.1
非製造業	-7.7	-4.7	4.6	4.7	-4.6	9.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.5	-9.0
製造業	-7.1	-7.1
非製造業	-13.6	-9.4

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-13.6	-11.2	24.7	14.1	-14.8	-21.5
建設業	-4.8	-9.5	19.0	20.0	0.0	-14.3
製造業	6.6	-6.7	33.4	0.0	0.0	-13.4
卸売業	-10.0	11.1	40.0	11.1	0.0	11.1
小売業	-35.7	-42.9	7.1	7.1	-28.6	-42.9
サービス業・その他	-23.8	-4.7	28.5	25.0	-38.1	-35.0
非製造業	-18.2	-12.3	22.7	17.5	-18.2	-23.4

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.8	-7.6	0.0	0.0	-1.3	9.0
建設業	0.0	0.0	14.3	9.5	-14.3	0.0
製造業	-13.3	-20.0	-20.0	-20.0	14.3	7.1
卸売業	-10.0	-11.1	10.0	11.1	-10.0	11.1
小売業	-7.7	-7.7	0.0	0.0	7.7	15.4
サービス業・その他	-14.3	-4.7	-4.7	0.0	0.0	14.2
非製造業	-7.7	-4.7	4.6	4.7	-4.6	9.4

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-12.5	-9.0
建設業	-9.5	-4.7
製造業	-7.1	-7.1
卸売業	-10.0	11.1
小売業	0.0	-7.2
サービス業・その他	-28.6	-25.0
非製造業	-13.6	-9.4

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(2026年1~3月期) ※2枚目のご回答もお願いいたします。

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2026年1~3月)の状況と、今期と比較した来期(2026年4~6月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数 _____ 人(うち正規雇用者 _____ 人)			
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】原材料価格やエネルギー価格の上昇など、物価高騰が企業経営に影響を与えています。こうした課題への取組状況についてお答えください。

1. 物価高騰が現在の事業運営に及ぼす影響の程度について選択肢からお選びください。

- ① () 大きく影響している ② () やや影響している
③ () あまり影響していない ④ () ほとんど影響はない

2. 現在の事業運営において、特に負担となっている費用について選択肢からお選びください。(複数回答可)

- ① () 原材料・仕入価格 ② () 光熱費(電気・ガス・燃料等) ③ () 人件費
④ () 物流費・運送費 ⑤ () 賃料・設備費 ⑥ () その他 ()
⑦ () 特になし

3. 今後さらに物価上昇が続いた場合の事業への影響について選択肢からお選びください。

- ① () 現在の対応でおおむね対応できる ② () 一定の影響はあるが対応可能
③ () 現時点では見通しが立っていない ④ () 経営に大きな影響が出る可能性がある
⑤ () 事業継続が難しくなる可能性がある

4. 物価高騰への対応として行っている取組について選択肢からお選びください。(複数回答可)

- ① () 販売価格・料金の見直し(値上げ) ② () 仕入先や取引条件の見直し
③ () 経費削減や業務の見直し ④ () 取扱商品・サービスの見直し
⑤ () 特に対応はできていない ⑥ () その他 ()

【質問4】鳥取県立美術館開館についてお聞きします。

1. 開館後、売上・人流・まちの賑わいなど何か変化を感じますか。

() 感じる

※具体的な変化についてご記入ください

(

)

() 感じない

2. 来館者の集客等に向けて何か取組み・工夫をされましたか。

() 行った

※行った取組みについてご記入ください

(

)

() 行っていない

【質問5】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。